

# 地球を守る ～商社の環境プロジェクト～

## Chapter2

### 資源を守る (1/2)

🕒 3:24

現在、最も深刻な環境問題の一つに、大気中の二酸化炭素やメタンガスなど「温室効果ガス」の急激な増加がもたらす「地球温暖化」が挙げられます。

最近の異常気象も地球温暖化が原因であろうといわれ、早急に対策を講じなければ食糧危機のような、さまざまな悪影響を引き起こしかねないと言われています。

温暖化の最大の原因は石油や石炭など、化石燃料の消費の増大にあると考えられています。

そこで、石油や石炭などに頼らない、「地球に優しい自然エネルギー」を利用する、クリーンエネルギー開発が進められてきました。

風の力を利用する風力発電や、太陽の光や熱を利用する太陽光発電などがそれに該当します。また、廃棄物やさとうきびなどの作物を原料とするバイオマス燃料やバイオマス発電、電気自動車などに使われる燃料電池や水素燃料の開発、そして供給にも積極的に取り組んでいます。

地球温暖化の防止には、世界各国の協力が必要です。1990年には、2008年から2012年までの間に、先進国全体の温室効果ガスの排出量を1990年時点に比べて、少なくとも5.2%削減することを目標とする「京都議定書」という国際的な約束が交されました。

商社はこの目標値達成のために、さまざまな温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトを推進し、世界規模での温室効果ガス削減を目指しています。

# 地球を守る ～商社の環境プロジェクト～

## Chapter2

### 資源を守る (2/2)

🕒 3:24

資源の有効利用という観点では、リサイクルも大切なプロジェクトの一つです。

アルミや鉄などの金属類に始まり、プラスチックや紙など、そして工場やレストランから出る使用済みの食用油を、また液晶製造に使われる現像液などもリサイクルして再利用するシステムを開発しています。さらに、自動車やパソコンなど工業製品のリサイクルにも力を注ぎ、資源だけでなく製品を再使用するプログラムも推進しています。

資源を大切にすること、これは今や国際語になった「もったいない」という意識を、私たち消費者一人ひとりから大企業に至るまで、社会全体で共有することから始まります。

エネルギーを有効に使い、無駄なゴミを出さないようにするという毎日の小さな心がけが、私達のかげがえのない地球を守ることに繋がっていくのです。